

日本が抱える問題

コロナや戦争など、悪い環境変化が進み、多くの方からこの先どうなるのかな…と将来への不安の声をお聞きする事が増えました。まず、長生きはするという事を念頭において考えていただきたいと思います。長生きとは具体的に何歳？現在周りを見ると **90 歳以上の方がたくさんおられる事から、その年齢くらいまでご自身が安心して生活出来るような資産形成**を考えると良いのではないのでしょうか。

現在日本の借金は世界第一位になってしまい、年金だけで生活することがますます難しくなっています。

少子高齢化が進み、今は現役世代 2 人で 1 人の高齢者を支える構図になっていますが今後はさらに少ない人数で 1 人を支えることが予測されています。これからは、ますます自助努力での資産形成が求められていますね。



FP保険の相談所

垂水駅前店 078-862-8451 西神戸店 078-921-7701

営業時間：10：00～17：00 営業時間：9：30～17：30

営業日：月・火・木・金・土 営業日：月～金

ホームページ：右のQRコードから または

ライフプロモーション神戸で検索



＜取扱保険会社＞ メットライフ生命 アフラック
オリックス生命 三井住友海上あいおい生命
FWD生命 ジブラルタ生命 アクサ生命
東京海上日動あんしん生命 SOMPOひまわり生命
NN生命 三井住友海上火災 ソニー損保

FP保険通信

NO.55 2022.4 発行

NISA・iDeCo・変額保険

低金利が続く、今後の高金利への期待も難しいことから、政府も投資を勧めています。上記の3つは全て投資性商品となりメリットやデメリットがあります。つみたて **NISA は 20 年以内受取時の利益が非課税**で少額から気軽に出来ることから若い世代を中心に人気があります。投資額に上限はありますが余裕のある方は上手く利用すると良いと思います。iDeCo については、**上限はありますが拠出額が税引前所得から控除**されるため、所得が高い人にとっては節税効果があり良いのですが、**60 歳までは原則解約が出来ない**事がデメリットと言われていて注意が必要です。共通している事は**元本が保証されていないため、増加するだけではなく、減少する事もある**との認識が必要です。

保険会社が取扱っている変額保険も、投資性商品に分類され、ご自身で特別勘定を選択し運用実績に応じ

て満期金や解約金に変動します。死亡保障があり、また三大疾病・三大疾病免除等の保障を付ける事も

できますので目的に応じて、バランスよく使う事で、より良い資産形成が出来ると思います。



資産形成の3大原則

投資にリスクはつきものなのですが、少しでも抑えていけたらいいですね。

「長期」「分散」「積立」を意識することで、リスクを抑える事につながります。長期で考える事は重要で、短期の利益追及は注意が必要です。投資先をたくさん分散させておくダメージが少なく済みます。一定の金額を定期的に積立してタイミングを分ける事でこちらよりリスク軽減につながります。

まずは、①流動性資金(つかう) ②安全性資金(ためる) ③収益性資金(ふやす)とお金を色分けして、それぞれの期間に合わせた資産形成を始めてみてください。

自分ではどのようにしたらいいのか悩まれている方、私たちFPに気軽にご相談いただけたら、一緒に考えながらアドバイスをさせていただきます。



FPからのワンポイント

最近、物の値段が上がり、家庭にとって日々使う食料品は特に痛いですね。

パスタや調味料等々、プライベートブランドを活用してみても？大手スーパーの物は様々な工夫を重ね低価格を実現されているそうです。たくさん店頭にありますので一度お試しください(^^)♪